

川越政 5PT設置し将来展望

今期は「守りを固める」

製品OEM事業も手掛ける生地商社、川越政(大阪市中央区)の川越浩治社長は今期(2018年3月期)、五つのプロジェクトチーム(PT)を社内設置し、中長期の課題分析に力を注ぐ考えを示す。

同社は基本的に毎期、「攻め」と「守り」を交互に使い分けている。創業60周年だった17年3月期は「攻め」の期として臨み、過去最高売上高を更新するなど結果を残した。今期は市況悪化も反映して「守りを固める年」と位置付ける。

守りながら将来を開く。そのために設置するのが、五つのPT。そのチームは、縮小する国内

産地で将来的に有力な仕入れ先を確保するための「国内産地対策チーム」、▽海外販売を伸ばすための「エクスポートチーム」▽社内での美化・整頓と社員間の信頼、協調関係を強化する「美化コミュニケーションチーム」▽諸経費を抜本的に精査・圧縮する「経費対策チーム」▽海外商材のスムーズな輸入により販売拡大とブランド化を推進する「インポートチーム」というもの。それぞれにリーダーを設けた上で、あえて普段所属する部署は無視して横断的な運営とする。暫定的に1年間実施し、進展を確認しながら継続を判断していく。今期の重点方針として

産資・不織布の備忘録

東洋紡は「テクテキス」が低い(藤井俊哉スーパーバイス)で、溶融紡糸ー繊維事業総括部長兼イによる高強力ポリエチレン・ツヌーガ事業部

熱分野やロープ用は欧州が主要市場。面白いのは前回展に続いてツヌーガを使った冷感生地「IC OLD」も提案した点。同展を通じた新規開拓が実っており「今回展でも反応は良かった」と言う。



洋紡は「ツヌーガ」などスーパーバイスに絞って出品。ツヌーガの耐切創用手袋は最終消費地次米

況悪化の中で前期比3%増と健闘し、製品OEM事業が11%増とけん引した。60周年記念行事として各取引先をラウンドしたことも、社内イベントによる結束力の高まりが増収増益に寄与した。

テキスタイル事業では展示会出展を休止し、新規開拓よりも既存顧客の深掘りを意識して推進した。

製品OEM事業では東京支店に初めて常駐者を配置したことが取引拡大につながり、中国・江蘇省などで新たな生産拠点を開拓したことも事業拡大に寄与した。

たことも好業績に貢献した。生地輸出売上高は約2倍に伸長。中国・米欧州などへの直接訪問、提案が実った。

製品OEM事業では東支店に初めて常駐者を配置したことが取引拡大につながり、中国・江蘇省などで新たな生産拠点を開拓したことも事業拡大に寄与した。

毛輸入重量は前年同月比37.0%減の144トン、輸入額は34.7%減の5億6745万円だった。1トン当たりの平均価格は3.7%高い3951円となった。

地域別に見ると、重量シェアで40%を占める中国からの輸入重量は47.8%、重量シェアが32%の台湾は16.5%それぞれ減少した。

17年1~4月累計は重量が前年同期比41.9%減で推移している。

川越政の2017年3月期単体決算は、売上高が18億円(前期比9.2%増)となり、創業60期目を迎えて過去最高を更新した。増収に伴って各利益も増益だった。

テキスタイル事業が市況悪化の中で前期比3%増と健闘し、製品OEM事業が11%増とけん引した。60周年記念行事として各取引先をラウンドしたことも、社内イベントによる結束力の高まりが増収増益に寄与した。

2017年4月羽毛輸入

	4月	前年比 (%)	1~4月累計	前年比 (%)
中国				
重量 キロ	57,585	52.2	169,532	38.1
金額 千円	211,472	69.0	701,138	46.9
円/キロ	3,672	132.4	4,136	122.9
台湾				
重量 キロ	47,330	83.5	200,809	66.8
金額 千円	117,634	49.3	590,345	48.6
円/キロ	2,485	59.1	2,940	72.7
世界計				
重量 キロ	143,607	63.0	569,729	58.1
金額 千円	567,448	65.3	2,672,765	61.7
円/キロ	3,951	103.7	4,691	106.2

出所：財務省貿易統計

「ゴールド評価」獲得

サステイナビリティ調査で

帝人グループでアラミド事業を展開するオランダのテイジン・アラミドが、フランスのエコヴァアティスが実施したサステイナビリティ(持続可能性)調査で、最高ランクの「ゴールド評価」を獲得した。

エコヴァアティスは、サステイナブルな企業を評価する傾向が

重量37.0%減 単価3.7%増

4月羽毛輸入

財務省貿易統計による2017年4月の羽毛輸入重量は前年同月比37.0%減の144トン、輸入額は34.7%減の5億6745万円だった。1トン当たりの平均価格は3.7%高い3951円となった。

地域別に見ると、重量シェアで40%を占める中国からの輸入重量は47.8%、重量シェアが32%の台湾は16.5%それぞれ減少した。

17年1~4月累計は重量が前年同期比41.9%減で推移している。

ののための

物Q&A

100

フライトマンのための
航空貨物Q&A
100問100答

海軍プレス社

最新版Q&A内容紹介(抜粋)

入門編
■世界でどのくらいの航空貨物が運ばれているのですか? ■最新型は貨物が多く積めるそうですね ■ハブ・アンド・スポークとはどういうことですか?

初級編